

資源環境経済学特論演習

2単位 (選択) 1年 (後期), 2年 (後期)
眞弓 浩三・教授 / 地域科学専攻 (博士前期課程) 環境共生

【授業目的】 この講義では、経済システムと生態系への長期的調和を目指し、熱力学や生態学の理論を取り入れエコロジー経済学の接近法の基礎を学習する。

【授業概要】 次の項目について演習する:1. エコロジー経済学の系譜;2. 熱力学とエネルギー資源;3. 生態学的基礎と階層理論;4. エネルギー分析の諸手法;4. バイオ燃料の自立可能性; 5. 中国・インドのエネルギー問題; 6. 鉱物資源の神話と現状

【授業計画】

1. 第1回:エコロジー経済学の系譜:マルチネスアリエのエコロジー経済学史
2. 第2回:エコロジー経済学の系譜:ジョージェスクレーゲンの貢献
3. 第3回:熱力学とエネルギー資源:熱力学の基礎
4. 第4回:熱力学とエネルギー資源:ジョージェスクレーゲンについて
5. 第5回:熱力学とエネルギー資源:マクロ経済学の再構成に向けて
6. 第6回:生態学的基礎と階層理論:アイゲンの理論
7. 第7回:生態学的基礎と階層理論:多階層理論の貢献者
8. 第8回:エネルギー分析の諸手法:粗エネルギー分析
9. 第9回:エネルギー分析の諸手法:純エネルギー分析と EROI
10. 第10回:バイオ燃料の自立可能性:どこまで化石燃料を代替しうるか
11. 第11回:バイオ燃料の自立可能性:農業生産物からのエタノール生産の批判
12. 第12回:中国のエネルギー問題
13. 第13回:インドのエネルギー問題
14. 第14回:鉱物資源の現状:総括
15. 第15回:鉱物資源に関する神話

【成績評価】 授業で学習した項目からテーマを選び、タームペーパーを書いてもらい単位を認定する

【教科書】 なし

【参考書】 資料は適宜配布する

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218049>

【連絡先】

⇒ 眞弓 (1316, 088-656-7175, mayumi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL